

モニタリング調査及び維持管理手法検討の実施予定

貴重動植物種が生息する湿地（7箇所程度）について、現況を把握するためのモニタリング調査及び、その維持管理手法の検討を行う。

1. モニタリング調査

生物構成種の推移、人の利用等による生物への影響などを調査し、今後も継続的にその変化を把握できるようにするために、モニタリング調査を行う。

2. 維持管理手法の検討及び試行的な実施

貴重な湿原性の植物の生育を維持できるような管理手法について検討し、また、一部試行的に実施していく。

[すすめ方]

◇ 維持管理手法の検討及び試行的な実施については、「大阪府立大学」と調整・相談することをベースに、必要に応じて「外部の専門家」などのアドバイスを求めるなどの検討を行う。

◇ 現在、実際に湿地の観察や保全作業に関わっている「信太の森 FAN クラブ」、「いずみの国の自然館クラブ」が中心となり、現況の少人数の体制で当面の調査等の活動をすすめていく。

◇ 市の業務委託により、コンサルタント業者との契約においても仕様の中で謳っているため、上述の関係機関と調整を図り、記録及び資料の整理等を行う。

◇ モニタリング調査結果や、維持管理手法検討内容については、協議会の企画運営会議等に報告し、必要に応じて今後の実際の活動及び取組み等に活用していく。

◇ 貴重動植物種が生息している湿地箇所等の具体的な位置情報等については、公園整備状況等に応じて、公開もしくは非公開の区別を明確につけておくものとする。